

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名 放課後等デイサービス SteadyStep

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	10			・プログラム内容に合わせて活動 スペースを調整している。	
	②	職員の配置数は適切である	10			・職員1名利用者2名の配置で対 応	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	10			・トイレ使用する場合、一人で座ること が難しい利用者には、手すり、 踏み台を用意し対応している。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	10			・職員会議、ミーティング等で実 施している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	10			・アンケート結果を踏まえ、長期 休みのプログラム、集団プログラ ム(月毎)を職員会議で検討して 作成している。	・送迎時や、個人面談の 際にご意見、ご要望を伺 い業務改善に役立てて いる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	10			・保護者、職員に公開日を通知 し、公開している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている					未受信
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	10			・年間計画により研修を実施し、 研修レポートを提出している。	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	10			・半年毎にモニタリングを支援会議で 行い課題、ニーズを整理しサービス計 画を作成し保護者面談で説明を行い 同意頂いている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	10			・契約、個人面談の際に詳細な情報を聞き 取りアセスメントシートに記入し、状況に応じ て書き換えを行っている。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	10			・事前にプログラム案を取り月毎 の職員会議等で検討している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	10			・季節に合ったイベント・工作・ クッキングを固定化しないように 実施している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	10			・平日の課題と休日、長期休みの 課題とに分けて支援している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	10			・個別活動(学習・パソコン・療 育)、集団活動(SST・運動・外出 等)を組み合わせ作成してい る。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	8	2		・送迎時間・送迎車、添乗者名・支援 の注意事項、担当利用者、プログ 内容、出欠の内容を表で作成し役割分 担を確認している。	・出勤時間により参加で きない職員に作成した書 類で確認出来るようにし ている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	10			・タ札を実施し、その日の様子や 困った事、対応方法等細かく報 告し共有している。	・職員の経験年数、専門 知識に違いがあるため 段階ごとの研修
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			・業務日誌に支援内容、特記事項、活動内 容を記入しタ札にて検証し改善に繋げてい る。 ・連絡帳に記録		
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	9	1		・半年ごとにモニタリングを実施 し、支援会議で計画の見直しを 行っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	10			・基本活動を踏まえたくてサービス計画会議で検討し立案し、支援を行っている。	
	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			・相談支援員、他事業所、学校との支援会議に管理者が参加。	
	②1	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10			・送迎時に担当の先生とその日の様子や行事、送迎時間等の情報共有を行っている。年間計画、下校時間の予定表のコピーを頂いている。	
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・受け入れていない
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	4			
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				・該当者なし	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2		・定期的にご利用計画書、モニタリングを介して連携している。※一事業所のみになっている	・機会あるごとに専門機関の協力をお願いしているが協力が得られないため連携できるように積極的に働きかけている。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	1	1	・公的な施設を利用時に活動を実行している。	
	②7	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	9	1		・定期的に参加して。	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			・連絡帳やlineで状況、様子を伝え合っている。欠席の時は電話で状況、様子を伺っている。	・日頃から送迎時に活動での様子や学習などで出来た事を伝えている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	10			・面談で現在困っている事、課題とされていることを聞き取り、相談や解決方法の支援を行っている。	・学校の担任の先生と情報を共有し、保護者への共通の支援のお願いをしている。
保護者への説	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10			・見学時や契約の際に説明するとともに、月に利用明細、代理受領書を発行するなど説明の機会を設けて理解いただけるようにしている。事業所内に掲示	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			・個々に電話や連絡帳、面談で行っている。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	2	・保護者同士の「理解を深めるため、親子で参加できる活動プログラムを企画している。	
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			・苦情解決委員会を設置し申し出があった場合、委員会を開催し迅速に対応している。 ・事業所内に苦情申し立ての仕組み等のポスターを掲示し、面談時に説明している。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
明 責 任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1		・ホームページ、Instagramで定期的に公開している。 ・毎月、行事予定、活動概要のお知らせを配布している。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	10			・鍵が掛けられる書庫に保管し、必要がある場合はその場で確認し持ち出し禁止にしている。 ・退職時は情報の廃棄処分を確認	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			・子供に合わせて理解できるように可視化し、言葉でも説明、意思の疎通を図っている。 ・連絡帳や送迎時に情報確認、情報共有を実施。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	4	・地域住民と合同で避難訓練を実施。	
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			・見学時や契約の際に説明するとともに、事業所内に掲示している。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			・年2回以上の避難訓練を計画、実施。 ・火災のデモンストレーションを管轄の消防署にお願いして訓練と合わせて実施。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			・年間研修計画に組入れ研修報告書提出し実行している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10			・委員会を開催し行動指針に沿った対応が取れるように研修も実施している。 ・見学や契約時に説明し、重要事項、サービス計画に記載し事業所内に掲示している。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	4			
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			・月毎の会議で事故報告、ヒヤリハットを検証し共有している。		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。